

# 各ライフステージの特徴的な生活習慣と口腔の健康の関連について

歯科衛生学科 藤田 美枝子

●連絡先 TEL 054-202-2635



歯周病予防, う蝕予防, インターネット利用, ライフステージ

短期大学部

高齢になっても自分の歯を保つことは、口腔機能のみならず、全身の健康にも関係していることが分かってきました。歯を失う大きな原因は、う蝕と歯周病です。歯の喪失を予防するためには、生涯を通じ、ライフステージに合った予防対策を行うことが重要です。

これまでの研究で、3歳児のう蝕の所得格差とソーシャルサポートの関連について検討し、所得格差の存在と、所得の低い家庭で祖父母からの手段的サポートが多いことがわかりました。祖父母が孫のう蝕発生リスクを高めてしまい、そのことがう蝕の健康格差の一因になっていると考えられ、祖父母に対する歯科保健教育や、祖父母がサポートする家庭への積極的な介入により、3歳児のう蝕発生リスクの低下や健康格差の縮小が行える可能性が存在することを明らかにしてきました。

現在は、中学生のインターネット利用と口腔の健康との関連を調査しています。う蝕や歯周病には、食生活、間食習慣といった生活習慣が関わっています。近年、インターネットが若年層にも急速に普及し、スマートフォンを所持している中学生が増加しています。こういった環境が、夜更かしや夜食の摂取など、中学生の生活習慣に大きな影響を与えていると考えられます。これらの関連を調査し、今後もライフステージの特徴に応じた歯科疾患の予防対策を提案していきたいと考えています。

